

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|----|----------------|
| ○事業所名 | アプリ児童デイサービス川崎桜本 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 21日 | | ～ 2025年 12月 7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 34 | (回答者数) 27 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 11月 21日 | | ～ 2025年 12月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 12月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 児童の要望、希望に合わせてプログラムを考案、実現させていること。子供たちの「楽しい」「笑顔」「来たい」に繋がるような支援を行っています。 | 児童に楽しんでもらうために、職員も児童と一緒に目線に立ち泥んこになって遊びます。イベントやプログラムは児童と一緒に考えて実現させていることで楽しいに繋がっていきます。 | 子供たちの「楽しい」の実現のためにアイデア、実現したいことを聞き取ります。それを実現させ続けることで児童の成長に繋がっていきます。 |
| 2 | 様々な自慢の活動があるところです。バスケットボール部や工作部、児童が主役になって作り上げます。お箸トレーニング、サーキットトレーニングも行い、楽しみながら成長に繋げることができます。 | 楽しみながら、遊んでいたら、いつの間にか出来るが増えている。特別な体験をしながら成長に繋げることを目標に取り組んでいます。 | 現状に満足せず、活動を振り返ります。少しでも児童の成長に繋がる可能性があるものは取り入れてブラッシュアップします。 |
| 3 | 様々な学年の児童がいるので、学校では中々交流のない学年の児童ともコミュニケーションが取れること。新しい発見や可能性に繋がっていきます。 | 全学年で一緒に活動しながらコミュニケーションをしてもらいます。その中でお互いに助け合いながら社会性を育んでもらいます。 | 学校では見られない一面を発掘し、保護者様や学校と情報共有を行うことで児童の成長に繋がっていきます。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-----------------------------|---|
| 1 | 地域の方々との交流の機会が少ない。 | 商店街の中に施設があるが、それを活かした活動が少ない。 | お昼の買い物やおやつのお買い物を通じて少しずつ地域の方々との交流を広げていく。 |
| 2 | 避難訓練の様子を保護者様にお伝えすることができていない。 | 実際に行っているが、様子をお伝えしていなかった。 | HUG等を通じて避難訓練の様子をお伝えしていきます。 |
| 3 | 様々な年代のご利用者様がいたので、それぞれの年代に絞った特別なプログラムを行うことが難しい。 | 年長児から高校3年生まで幅広いご利用者様がいます。 | 全年代のご利用者様が楽しみ、成長できるような療育を行っています。 |